

みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館 建設市民ワークショップ通信

発行：伊予市役所総務部庁舎建設課 TEL：089-982-1111 内線581・582

11月9日（日）の午後、郡中地区公民館にて、第6回「みんなで作ろう！図書館、文化ホール、郡中地区公民館建設市民ワークショップ*1」を開催しました。最初に、施設がオープンすることを想像し、新しい施設の愛称とキャッチフレーズを考え、グループで紹介し合いました(p2～)。次に図書館、資料館に対する期待や提案を、新施設管理運営検討委員会委員長の徳永高志さん、文化財保護審議会委員の岩田恒郎さん、読み語り隊隊長の橋本千春さんからお話いただきました(p3～)。その後、(株)山下設計から、前回ワークショップでの、たくさんの提案を盛り込んだ改善案について説明があり(p5～)、それに対する質問や改善点をグループで話し合っポストイットに書き出させていただきました。出されたポストイットを一枚ずつ確認しながら、修正の方向について設計者と確認していきました(p7～)。最後に、各自「使い方提案アンケート2」にお答えいただき(p11～)、第6回のワークショップを終了しました。

いよいよ次回は、基本設計案の最終確認です。保育園の園庭をお借りして、縁側モールの原寸確認も予定しています。たくさんの人の楽しいアイデアを実現するために是非ご参加下さい!!!

<プログラム>

- 1：はじめに
- 2：新しい施設の愛称とキャッチフレーズを考えよう！
- 3：それぞれの立場から図書館に対する期待と提案をお聞ぎします
- 4：図書館、公民館部分を中心に間取の改善案を説明してもらいます
- 5：各グループで計画提案を確認し、改善点を検討して下さい
- 6：修正点を全体で確認していきます
- 7：施設利用アンケートとまとめ

全体スケジュール

第1回 2014.6.22(日)

・まちと施設の素敵な関係を考えよう！

基本設計

第2回 2014.7.13(日)

・文化活動の現状を知り、3つの施設空間の検討課題を考えよう！

第3回 2014.8.31(日)

・3つの施設空間の提案を確認し、「文化ホール」についてじっくり考えよう！！

第4回 2014.9.21(日)

・文化ホールの魅力づくりと運営を考えよう！

第5回 2014.10.19(日)

・図書館と公民館について考えよう！
～複合施設のあるべき姿を考える～

第6回 2014.11.9(日)

・図書館と公民館について考えよう！
パートII

第7回 2014.11.30(日)

・基本設計を現地で原寸確認しよう！
※8月10日中止による振替

実施設計

第8回 2015.2月開催予定

・市民が利用しやすい運営方法を考えよう！

第9回 2015.3月開催予定

・市民協働の運営組織を考えよう！

第10回 2015.5月開催予定

・手作りオープニング・イベントを考えよう！

解体

2015.8月

郡中地区公民館解体

工事

2016.1月

工事着工

2018年4月オープン予定

*1 ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場

◆心愛和〇〇

⇒誰もが行き易く、親しみを感じ、心が和む。

◆いよひめかん

⇒伊予国のおこりはこの伊予(いよのおこり)。えひめのおこりはこの伊予(愛比めのみこと)。かんは館であり、みかんの柑です。いよひめかん!!

◆いよしゆめのやかた

⇒市民みんなが夢を語り、それを現実化していく力を生み出すための基地

◆愛みん

⇒みんなに愛される(きたくなるような)公民館になってほしい。

◆ほじゃけん よかろ

⇒「山の幸」あり、「海の幸」あり、たくさん豊かな自然の恵みに感謝できるよ!!

◆ハグみん

⇒みんなワクワクつながる広場。みんなで仲良くハグ、はぐくむ、育む!!

◆ITI(イコ、トレジャー、アイランド)

(伊予宝島館) ⇒伊予の宝島、みんなで宝者を探しに行こう!!

◆くじら

⇒この建物はくじらに見えた。伊予市の未来にむけて泳いでいく。

◆みんなのやかた、いよのやかた、あつまらんか、いよのさと、いよのさと

◆虹色ホール、伊予のおおやね、ソラキララ館、伊予SHIP

◆伊集or縁集

⇒みんなが集まり、集う場所!!

それぞれの立場から図書館に対する期待と提案をお聞きします

図書館、資料館に対する期待や提案を、3人の方からお聞きしました。

徳永高志さん(新施設管理運営検討委員会委員長)

● 図書館にはアーカイブ機能がある

・書籍、雑誌の貸し出しのみならず、歴史史料^{※2}など地域の文化資源を、「現物」「複製」様々な形でアーカイブ(蓄積)することも重要な機能で、地域を知り、育てる重要な手掛かりとなる。

● 寿楽座の史料から見えるもの

・3年前、内子座の歴史資料館に寄贈された段ボールの中から、1885年の寿楽座の開場に際し、寿楽座直営興業部の品川氏から内子座に送った一等招待券の封筒が見つかった。
・この史料から、こけら落としが嵐璃寛と尾上多見蔵^{※3}の二人だったことや、寿楽座が周辺の町に案内を出していたことがわかる。

● 伊予市に脈々と受け継がれる文化的な水脈

・1854年、安政元年の大地震以降に作られた、郡中の浜辺の図が残されている。
・郡中灘町がほぼ壊滅した後、それ以前の栄華の模様を思い起こして、アーカイブしたもの。
・160年ほど経った今、そこからどんな被害があったかを知ることができる。

● 2014年広島市の大水害の事例から

・8月に大水害が起きた広島市安佐南区八木は、江戸時代には「八木蛇落地悪谷(やぎじゃらくじあしだに)」と呼ばれていた。その名前を地元の人達が嫌い「八木上楽地芦屋(やぎじょうらくじあしや)」と変更し、それが現在の地名の「八木(やぎ)」になった。
・「蛇」という地名は、歴史学的にも民俗学的にも水害をあらわす場合が多数あり、水が流れる、洪水が起きるとのこと。これは史料から分かることだが、土地の値段が下がるので、住人はこういう地名を嫌い、現在の地名からはほとんど削られている。

● 東日本大震災で過去の史料が見直された

・東日本大震災に際し、「慶長奥州津波」など、過去の災害史料や古地図の大規模な調査が実施され、その価値が見直された。

歴史史料、民俗資料はまちづくりの源泉。このワークショップも歴史になる。それらをアーカイブしていくことが大切で、それを残せるのが図書館ではないか。



※2 史料…歴史を認識する素材。文献・遺物・遺跡・図像・口頭伝承など

※3 嵐璃寛(あらし・りかん)、尾上多見蔵(おのえ・たみぞう)…歌舞伎役者の名前

岩田恒郎さん（文化財保護審議会委員）

● 図書館には図書館法がある

- 公立図書館、私立図書館、学校図書館それぞれに法律が違う。
- 学校図書館は本の新陳代謝を行うが、国立国会図書館では、一度本を仕入れたら絶対に廃棄してはならないきまりがある。
- 図書館は貸本屋ではない。図書館法第三条第一項に、郷土資料、地方行政資料を保存するとある。これは非常に重要なことなので、そこを重視していただきたい。

● 収蔵環境を重視してほしい

- 電磁的資料の寿命は公的には20年。湿気や日に弱く、壊れたら元に戻らない。
- デジタルではない、目で見える紙などに保存しておく必要がある。紙の資料をどう保存するかを一番に考えてほしい。
- 紙は光に弱いので、暗い所に置いておかないといけない。国立国会図書館も、貸金庫のような暗いところで、ほんの数分しか見せてもらえない。国会図書館ではそのぐらい厳密にやっている。

● 愛媛県総合科学博物館の経験から

- 計画立案からオープンまで携わった。
- 自然館の地球ゾーンには一本柱があるが、あれは黒川紀章の設計にはなかった。施工業者が図面を引き、強度が足りないので柱を一本入れることになった。そのために東京や大阪へ出張へ行ったり、知事に認めてもらったり、展示の変更を余儀なくされたりして大変だった。その代わりに、何百万と展示の変更費用と2か月の工期が掛かった。
- デザインの良い建物を建てるのは結構だが、そここのところは念を押ししたい。

図書館の大事な機能の中に保存機能があることを十分お考えいただき、これからの設計に活かしていただきたい。



橋本千春さん（読み語り隊隊長）

● 読み語り隊の活動

- 本が好きで、お話を通してみんなを、誰かを楽しませたいという思いで集まった大人15名、小学生37名、計52名で活動しているボランティア団体。活動を始めて12年、主に伊予市内の保育園と小学校、老人福祉施設、保健センターや地域の公民館で本を読んだり、紙芝居を作って発表している。去年は人形劇にも挑戦した。
- モットーは1番に自分がまず楽しむこと、2番に誰かを楽しませること、3番目にみんなが助け合うこと。

● 今年はフィンガーペイントに挑戦

- フィンガーペイントは指に絵の具を塗り、自由に描くもの。人間は特別な技術や道具がなくても、手のひらや指に絵の具を付けただけで自由に描くことができる。堅苦しくなく自由な発想で想像の翼を広げて、心から解放できる、自由になれる瞬間
- 場所はいろいろ探したが、使い勝手のいい部屋が見あたらず、双海町の上灘保育園と、みんくるの部屋をお借りした。
- 今回は絵を描く前に、色の絵本を最初に読んで色に興味を持ってもらった上で、「実際にみんなでやってみましょう。」という導入を行っている。

● 施設に期待するもの

- 子どもも大人も、何かを始めるときはまず本やインターネットで調べ、まず物を使って教わる、その次に人から教わる、それから体験することで、本物が身に付くのだと思う。
- 新しい施設には、これからやろうとすることに対して調べたり、知ったり、興味がわくような本がたくさんあること、水道の設備や洗い場があること、大きな荷物を収納できるロッカーがあること、明るく外からでも楽しい活動風景が見られる部屋で、壁は汚れても拭き取り可能な材質であれば嬉しい。

私はフィンガーペイントという視点で話したが、参加している皆さんもそれぞれ好きなことや、やりたいことがあると思う。自分がやりたいことを叶えてもらえるような部屋を、これから皆と一緒に考えて、伊予市のコンセプトでもある「学び、育み、つながる出会いの広場」が出来るようになればいいと思う。





説明を聞いた後、質疑応答がありました

参加者-1：伊予市には卑弥呼の時代の三角縁神獣鏡（さんかくぶちしんじゅうきょう）を始め、多くの文化財がある。合併協定書に「文化財の保存、展示する施設を建設する。」とあるが、今回の計画にはない。合併協定書を遵守してもらいたい。手狭であれば民具を含めて、保管、展示する施設を別のところに造っていただきたいと思う。それから多目的ホールの机や椅子を収納する場所がない。公民館の事務室には、住民の誰もが行き館長と話をする、親しみを感じるところで、大勢の人がいるところではなかなか話しにくい部分があるので、事務室を2階につくっていただきたい。

参加者-2：意見書として3ページほど書いてきたのでそれを読ませていただきたい（p15参照）。

参加者-3：僕は策定委員をやらせていただいた。僕がこの場所を反対したのは、ここが住居専用地域の上、保育園があるから。日影権があり、高さの問題は設計が大変だと思う。ここに建てること自体、間違っている。でも今更そんなこと言っても仕方ないのでその中で一所懸命、法的にも進むようにしているわけである。それを有識者で検討し直すと言うなら、策定委員会からやり直さなければいけなくなって全部やり直しになる。それなら我々は何をしてきたのか。いつもひっくり返されて、ひっくり返されて、またひっくり返されたら「策定委員なんてやらない方が良い。」となる。現実にはいろいろな問題をクリアして、議会も承認したはずである。前にも言ったように、「伊予市がうまいこといくなら。」とみんな辛抱している中でこの図面が出ている。順々にやってきたステップは何だったのか。ワークショップもステップの1段階。これをやり直すことになると、このワークショップも意味がなくなる。ある程度のところで妥協も必要だし、今まで僕らは妥協の連続だった。それでも伊予市のためにとやってるのだから、そういうのも考慮していただいて、一方的なお話だけはちょっと待っていただきたい。

参加者-4：私は伊予市で生まれて伊予市で育ち、養ってもらった。私は一度、組織も仕組みの同じような松前の公民館を見学して、実物を見て、そこを使っている人の声を聞いて、それよりもっと良いものをつくってはどうかと思う。百聞は一見にしかず。今のような組織でやったら、要望が雨あられのようにながて来る。予算の関係もあるので、最高のものをつくるために、机上の空論だけでなく見学に行った方が、より有効だと思う。

参加者-5：私は文化財委員をやっているが、伊予市らしい、歴史の展示を入口辺りに分かるような形で

しないといけないと思う。施設の中に歴史資料の収蔵、燻蒸、整理、展示室を全部入れるのは、現実的には難しいので収蔵、収集、整理機能をしっかりとつくることを優先すべきではないか。展示については今度出来る新庁舎の中にも企画ギャラリースペースが出来るはずである。東温市には常設展示場もあるがリピート、集客が少ない。それよりもきちんと保存し、必要な時に企画展示がやれるようにすべき。宮内家の横の広島銀行をどう使うのか、市の構想にはあるがまだ煮詰まっていない。新市庁舎を含め有効に使える施設をいろんな形で活用し、この中でやるものと区別をして、伊予市らしいものを発信することを考えるべきではないかと思う。

教育委員会事務局：前回と教育委員会の考えは変わっていない。伊予市には愛媛県内でも非常に貴重な文化財があるが、それを収集して保存、更に調査研究して展示する場所をこの施設に全て入れるというのは難しいと考えている。優先順位として、まずは貴重な資料を後世に残すために収蔵して保管する施設をきちんとつくることを考えている。次に展示だが、今回の2階のアトリエ2の外にギャラリースペースがある。これは企画展的な扱いになると思うが、壁面に展示ケースを設けて季節やテーマによって展示替えをするような場所。もっと市民の目に触れるところをということであれば、1階も検討していく必要があるが、その点についてはワークショップの中で問題提起をし、意見をまとめていただきたい。

安田：公民館が小さいので吹抜を減らしたらどうかという話だが、1階のスタジオ1は今の防音室と同じような機能だし、2wayルームも会議室として使えるので、全体で見れば現況の公民館の面積はほぼ確保できている。それを更に拡大することは面積を増やすことなので、工事費の増となる。この設計は基本計画をベースに考えている。例えば図書館については約10万冊程度の開架スペース、2万冊程度の閉架図書、400席程度のホールということだった。建物の骨格については、プロポーザルでいろんな設計事務所がいろんな提案を出した中で、この縁側モールの立体的なつながりの形が評価の1つとして選ばれたので、それをベースの提案にしている。採光について、トップライトを付けることも可能だと思う。全体としてハイサイドライト^{※4}などを付けたり、適宜窓を開けていくことも可能だが、自然光はある程度制御しないと、本に紫外線が当たることは本を保存する環境としてはあまり好ましくないこともあるので、そういった中で考えていくことになる。

※4 ハイサイドライト…天井付近の高い位置に鉛直方向に設けた窓の事。頂側光採光の事。部屋の奥まで光が届きやすくなるという利点がある。

各グループで出された改善点を全体で確認しました

図書館を中心に、計画提案全体に対する質問や改善点をグループで話し合ってポストイットに書き出し、全体の場で修正の方針について設計者と確認しました。

こども図書館

- 絵本だけでなく、ぬりえやおもちゃをおいたらもっと楽しめると思う。
- こども図書館は小さい子がたくさん使うので、かたい物は置かない方が良い。
- こども図書館があるなら、お年寄りのコーナーがあってもいいのでは？

安田：今回計画の10万冊の中で、絵本や児童書を含めて3万冊ぐらい置けるぐらいのキャパシティ^{※5}があれば良いと思っている。これからどれぐらいのエリアまで使うのか、他との関係を考えないといけないが、こども図書館は非常に大事な場所で、充実するべきだと思う。



これから検討を詰めていく。

入り口付近

- 小さい子が遊びながら飲食出来るスペースを作れば良いと思う。
- 小さな子どもとお母さんがくつを脱いで座ってお弁当(昼食時)を食べる場所がほしい。
- カフェと図書館が近くなったのは良いと思う。
- 子どもとお弁当を食べられる場所が必要。伊予カフェを座敷にする？伊予カフェに手洗い台も。
- 伊予カフェのかべはぜひガラスにしてほしい。開放感、子どもの様子などで。
- 伊予カフェは毎日でなくてよい。
- 伊予カフェスペースは多目的、イベントにも使えるように。
- 小さい子から大人まで楽しめるメニューだといいたい。
- みかんを使ったメニューだったり、愛ひめの食材を使ったらいい。
- 広場の活用、カフェと広場の関係を密に。
- 伊予カフェは前面側にした方がいい。(図1参照)

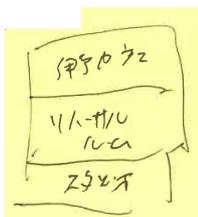


図1

安田：伊予カフェをどうするかが大事な問題。本当にカフェをやるのか、やるなら皆さんが積極的に関わり、自ら運営していくことを考えないと実現できない。

参加者1：今朝、NHKの「さきどり」で武蔵野プレイスが出ていたが、そこでは主婦達が自分達が作ったお弁当やお菓子を持ち寄って、そこから話題が広がっていた。今はコンビニにも、コインを入れればコーヒーが出る機械もある。カフェを誰かが経営しなければいけないという概念でなくても良いのではないかな。



このスペースをどう使うか、これから皆さんで検討を進めていくべき課題

閲覧開架室

- 1人用のせきもいると思う。丸いせきだけだと1人でゆっくりしたい人がほかの人の話でゆっくりできない。
- 小さい子向けのつくえを1台ぐらい置いたらいい。
- 歴史や地理など、勉強に役立つ本をすみっこに置いたらいいと思う。
- 小さい子向けの本を下のだんに置いたらいい。
- 閲覧台にスタンドを設置してほしい。
- 本棚の高さを考えて。
- その学年向けの本のたなをきめておいて、さがしやすいようにすればいいと思う。

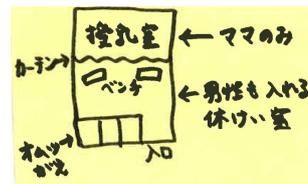
安田：大きいテーブルに仕切りを入れて、隣が気にならないようにすることは他事例でもよくやっている。そこは静かに本を読みたいときに活用できるので、奥の方にはそういう家具を置いていけば良いと思う。書架は、今は1.8mピッチで高さが1.9mぐらいの6段のものを考えていて、今つくられている新しい図書館では多い。1番本棚として使いやすいのは1.0m~1.6mぐらいの高さである。下の方は使いにくい。圧迫感があるが、5段の書架にすると、書架を増やさないと収蔵数を確保できないので、書架の向き等を検討していきたい。



収蔵数を確保しながら、圧迫感のない書架の配置を検討する。

授乳室、おむつ台

- こどもトイレ、授乳室が狭すぎ。閉鎖的。男性も使えるように。
- 男性(パパ)もミルクをあげられるスペースが必要だと思います。
- 男性、女性トイレとは別におむつこうかんスペースがほしい。
- 男子WCにもおむつ交換台を！イクメンのため。
- 男性用トイレにもおむつ交換台がほしい。
- 男性トイレにもベビーベッドが必要
- 育ジイ、育パパへの考慮



安田：授乳室や子ども用のトイレについては、実施設計の中で適正な大きさを追求していこうと思う。前回はトイレについては普通のトイレではなくて夢のあるトイレにしてほしいという要望があったので、心がけて設計したいと思う。男女が同じ授乳室に入るのは、女性としては嫌だと思うが、授乳室を2室つくる必要があるか、私には判断ができない。

※5 キャパシティ…収容能力。また、容量

参加者2：最低限で良い。たくさん要るようなら、大きい施設に行けば良い。

安田：男性がミルクをあげるとしたら哺乳瓶であげることになるので、特に個室に入らなくても良いようにも思う。

 実施設計の中で適当な大きさ、しつらえを検討する。

リハーサルルーム

○リハーサルルームは可動するのか！有効スペースなのに！

○リハーサルルームは見られてはいけないと思うので、吹抜をなくしてほしい。

安田：リハーサル室を上から見下ろすのではなく、天井が高いということ。入口側には窓をつけ、ここでミニコンサートをやるときなどにはそこをオープンにして使えば、通りを歩く人からもやっていることがわかるようになっていく。どうしても閉めたい時にはカーテンを引けば遮ることが出来るようにしたいと思っています。

 見られたくないときには閉められるようなカーテン等を設置する。

設備

○荷物を預けるor置けるロッカーが必要。子ども連れば荷物が多くて、持って移動は大変です。

○楽屋にシャワールームがほしい。

○保育園にある、お尻や足を洗える水場を。1階、2階共。 ⇒

○給湯室を設置してほしい(楽屋付近)

○パソコンコーナーを入口辺りに。



参加者3：保育園にある、お尻を洗うものは、シャワールームと違って上部がない。あれなら子どもさんだけを入れて洗うことが出来るので良いと思う。

安田：低めのシンクを作るなど、検討してみたい。パソコンコーナーはインターネットが使えるものを設置する。それはこれから反映していく。

 子ども用のシンクは検討。パソコンなどは今後、反映していきたい。

縁側モール

○縁側がキモ!!上手に使って。

 そう思う。次回は縁側モールを原寸で確認したい。

事務室

○事務室に大勢の人が入る必要性は？ボランティア化の方向性もある！

○事務所は作業員だけでなく、機器類のスペースが必要。さらに応接セットもおけるよう広さをとる。

○ホールと公民館と図書館の合同のミーティングルームの確保

○収蔵庫の横の事務室は、閲覧室側の壁をガラスにする。

安田：施設の真ん中に位置する事務室は、本を借りたり、部屋の予約をする等、窓口サービスのための総合管理事務室。作業用事務室を隣接させると、トイレが奥になってしまうので、今は総合管理事務室と作業用事務室を分けて、トイレをなるべく安全で使いやすい場所につくるという考えて配置している。

 総合管理事務室と作業用事務室を分けて考えている。

文化財関連

○研究個室がなくなっているが。

○図書館、文化財整理だけでなく、カウンセラーのコーナーをつくる。

安田：研究個室は、「そんなにニーズがあるか」という意見があったので今回は外したが、もし必要であれば、奥の方に設置することは可能。

カウンセラーというのはレファレンス^{※6}のことだと思うが、そのカウンターは奥のほうに作る必要があると考えている。

 図書館のレイアウトについて、さらに検討が必要

その他

○公民館機能は商店街の空き店舗を活用して民間が行えばいい。年配者が十二分な要求を出し、多額の費用、維持費を要する箱物をつくるべきではない。子育て世代は年配者と比較して恵まれていない。予算は子育て支援に回すべきである。彩浜館というすばらしい施設がある。彩浜館を郡中公民館本館にすればいい。

○今回のホールと新市庁舎との市民活動における整合性を吟味したい。

○図書館を中心にといいことだが、全体としてぐんちゅう保育所の運動場の有効利用を考えてみては？

○たばこをすってもいい所をつくったらいいと思う。

○西側の窓(屋根)を少し高くする。

○ビジネス支援機能のある図書館にしたい。

※6 リファレンス…利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館員が情報や資料を検索・提供・回答することによりこれを助ける業務

- 伊予カフェ、事務所、図書館のカウンターのあり方は、プランAがベターと思う。
- 管理は一元化
- よくできていると思う。あとは市民が主体的にどうかわるかだ。
- 全体の配置は良いと思う。バランスが取れている。
- 3歩進んで2歩下がる。いいものを造る、育みの苦しみ。今回もいいワークショップであった！
- 1区かくに子ども（小さい子）用のスペースを置いたらいいと思う。
- 老人にも分かりやすい表示、サイン、案内。ユニバーサルデザイン※7
- 全館 i ※8 的なスペース（コンシェルジュ※9？）
- 外に小さいこいの場が必要。木とベンチと芝生の広場がいいな。小さな子どもが遊べるようにしてください。

安田：前回、皆さんの意見を聞いて、なかなか一人でやっていると気づかないところまで気づかせてもらい、さらにプランが良くなっていると専門家としては思っている。今回のご意見を反映していくことによって、より良くなるだろうと思う。
施設の構成は比較的分かりやすくなっていて、1階も2階も一体感がある。その中でサインは大きくするなど、配慮したい。

👉 よりよい施設になるよう、意見を反映しながら設計を進めていきたい。

和室

- 囲碁セット、卓上機の置き場が必要。50cmの奥行きの間、半間の押入、机の置き場が必要。8畳2間
- 特定のグループだけの専用にならない様に配慮する。
- 和室は家族とゆっくり出来る場所だから、もう少し広くすればいいと思う。
- 和室の入口は広い方がいいと思う。
- 年寄りも好む座卓のある和室。乳幼児もはいはいできるスペース

👉 要望を次回のプランに反映させたい。

郷土資料展示

- 郷土資料を広く展示するスペースがあればよい。子どもに誇れる伊予市を！
- 展示場所は、広い場所がある場合はウェルピアですればよい。
- 文化財照明は蛍光灯をLEDにすればよい。
- 資料のギャラリーをもう少し豊かに（広く）する。
- テーマ展示コーナーやもったいない本の通りに、子ども達に分かりやすい形で歴史アーカイブを展示

👉 この施設の中で出来ることを考えて取捨選択することだ大事だと思う。その中で出来ることをやるべきだ。

多目的スペース

- 多目的スペースの机や椅子の収納スペースは？
- 更衣室はもう少し広い方がいいと思う。
- 多目的スペースの倉庫と更衣室は、利便性の点から入れ替えたら良い。

安田：多目的スペースの机や椅子を常時、ここで保管するのか、どこか他から持ってくるのか。中に保管をするなら、それなりの倉庫を造る必要がある。

👉 今後、詳細を詰める中で考えたい。

2階のその他のスペース

- 2階の学習コーナーの前の吹抜はなくして、有効なスペースを取っては。
- 学習コーナーから1階を見下ろせるので、いいと思う。
- サポートルーム、ボランティアスタッフ、印刷機なども必要



※7 ユニバーサルデザイン…文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）

※8 i…インフォメーション

※9 コンシェルジュ…あらゆる要望、案内に対応する「総合世話係」というような職務を担う人の職名

アトリエ

- アトリエ1～3の照明はLEDのこと
- テラスはくつろげる（おちつける）ように広々としている方が良いと思う。
- テラスにアトリエ1を通らずに行ける通路があった方がいいと思う。
- アトリエ3は調理用とするべき。横のテラスで食事ができるのが自然である。
- 調理室で作った料理、テラスだけだと寒い日や雨の日に食べるのが大変では。
- アトリエ2の調理と、多目的スペースの関係。未来的に段々、食事の機会が減少すると思う。サービスする裏方、協力する特に婦人方も減少する。
- アトリエが用途限定になりつつあるが、2wayルームとならないか。

安田：「調理」や「工芸」と部屋名に付けているが、水回りがある、キッチン設備があるというだけで、それを使わなければ普通の会議など、いろんな使い方が出来るようにしている。テラスとの関係だが、調理室と工芸を入れ替えることも当然出来る。どちらがよいのかということ。前回、多目的スペースと調理室が近い方が良いというご意見があったので、今回は多目的スペース近くに調理室を移動したということ。

 テラスと部屋をどう使うのか。今後の検討課題

設備関係

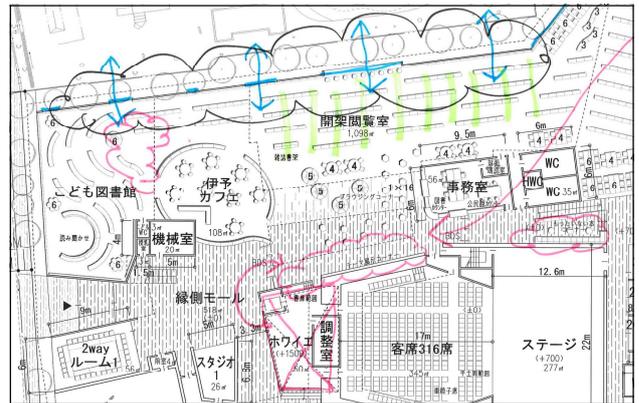
- 全館空調の方向と思われるが、吹抜は空調費が大変高くつくと思われるが如何か。
- 防災機能を有するのであれば、ソーラー等の設置は無理でしょうか。
- スロープはあるのか。
- どこかにエスカレーターを。
- 機械室を地下にする。

安田：機械室を地下にすると、その分面積を増やすという話になる。限られた予算の中でなるべくコンパクトに作ろうと思う。納まらなければ地下になることもあるかもしれないが、出来れば地下をなるべく作らないようにしたい。
エスカレーターまではいらないと考えている。
吹抜の空調費については、居住域の高さ2mぐらいまでを空調する考え方で、空調を床から行う。人がいるところだけを空調するように作れば、維持管理費がそんなに大きくかかるようにはならない。

 限られた予算の中で、できるだけコンパクトに、維持管理費もかからないようなシステムを検討する。

ぐんちゅう保育所との境

- 保育所側をもっと開放的にする。光、眺望
- 北側の窓は光をコントロールする。開、半開、半閉
- 保育所との視覚的關係。図書館ともっとつながりが欲しい。
- 光の計画



安田：保育所側の窓について、今は書架にしているが、書架の目線の位置には窓をつくり、その上や下には本を収納することで、視線のつながりは維持しながら、本の収納冊数を確保することも考えていきたい。
児童のエリアの書架は4段程度のものにして高さを抑えれば、視線を確保することも出来るのではないかと。4段の書架なら、普通に立った位置で視線は抜けるので、開架冊数を確保しながら、外との関係を作りたいと考えている。

伊藤（大久手計画工房）：光のコントロールは設計者の技量。毎回プランが変わってきているように、皆さんの意見で次回、また改良されたものが出ると思う。次回は縁側の原寸を体験していただくつもりもあるし、光の具合はまたCG等で上手く説明していただきたいと思う。

 開架冊数を確保しながら、外との関係を作ることを考えていきたい。



「使い方アンケート2」に答えていただきました

最後に、施設の「使い方アンケート2」に各自で回答していただきました。

1：図書館内での飲食についてどのようにお考えですか？

飲食ができるようにしたい

- ・ 飲食は必ずOK
- ・ 主婦と子どもがおやつやランチを持ち込み、パイ、ケーキ、料理のレシピの話題が広がるのはgood!
- ・ 飲食OKでいいのでは？
- ・ 飲食はOKでいいと思う。よごれないように注意などすれば。
- ・ 図書館は日常的活用のメイン施設であるため、勉強とコミュニティの場でもあり、飲食は可とすれば。
- ・ 自由な雰囲気の図書館にしたいので、認めるべきである。
- ・ 飲食はしていいようにしたらいいと思います。図書館、文化ホール、郡中地区公民館にきた人が、もっとたのしめたほうがいいと思うからです。
- ・ 子ども連れで来た時、食べられる場所がないと利用しにくいです。親子が過ごしやすい、飲食スペースを作ってほしいです。できれば座敷が有り難いです。寝たときに横に寝かせられるように。
- ・ 世の中の流れとして飲食も、との希望があると考えます。しかし子どもや小さい子ども交流するし、汚くすれば他の仕事が増える。そのようなことのないように運営してください。
- ・ 今日の山下さんの説明では、図書館は市民にとって第3の空間ということでお話をし、食べて飲む空間は必要と思う。ただ伊予カフェもいいが、だれがやるのかをしっかりと検討しなければと思う！
- ・ 良い。ただしルールを決める（後片付け）。スナック菓子、カップラーメンも食べれる。
- ・ のどがかわいたときに、お茶などをのめないとなると、飲食できないのはやめといた方がいいと思う。カフェへいく人ばかりではないので、飲食はいいと思う。
- ・ 本を汚さない保証があれば賛成

お茶のみ可とする

- ・ 基本的には反対です。学習コーナーで熱中症予防のための水分補給くらいなら…。
- ・ 飲料程度は良いが、食事は不可。学習の場であるから。
- ・ 基本的にはいけない（特に閲覧室では。）。お茶のみ可とする。

伊予カフェなど、エリアを決めれば良い

- ・ 伊予カフェなどエリアを区切れば、飲食は可としてよいと思う。ゴミの持ち帰りなど、ルールを徹底する必要があると思う。
- ・ カフェスペースがあるのはいいと思う。調べ学習をチームとする人が、カップラーメンとか食せたら便利（マナーの徹底を。）
- ・ スペースを決めてルール化すれば可能だと思えます。全国事例を調査して、挑戦しましょう。
- ・ 飲食専用の場所があったらいいと思う。伊予カフェがあるので、必要性はあまりないかもしれない。
- ・ 閲覧室内での飲食は、図書を汚す恐れがあり望ましくない。書架から離れた所ならば、軽食は許されると思う。
- ・ 図書館では本がよごれるので飲食は場所を限った方がよいと思う。ゴミ処理をどうするか考えることも必要
- ・ 館内の飲食は慎むべき。多くの図書があり、汚す心配があり。飲食は伊予カフェを利用すべきだと思います。
- ・ できる所とできない所を作る。
- ・ 飲食できる部屋とできない部屋をみんなで決めるとよい。親子参加のイベントは、参加者の子どものお昼寝タイムに重ならないよう、9:00~12:00の間に行うことが多く、イベント終了後が昼食時間になります。お弁当、軽食を持って来られる方もいます。そんな時、お弁当などを食べる場所がほしい（靴を脱いで赤ちゃん連れの親子が座って食べられるようなスペース）。小・中・高校生が休みの日、お弁当を持って読書したり勉強したりする時、昼食時間に気軽に昼食が取れる場所が欲しい（椅子、机の高さを調整できるもの）。
- ・ 館内での飲食はすべきでない。ロビーやカフェがあるではないか。
- ・ 伊予カフェがあるので必要ないと思う。
- ・ 図書館内では食はできなくてもよい（施設内には飲食可能な場所があることが前提）。また図書館内でもどこでもOKではなく、併設カフェ内のみなどのように限定する。
- ・ 飲食するのは、図書館内ではやめた方がいいと思います（小さい子どもが本を汚すといけなから。）。そのかわり、伊予カフェに本を持ち入れていいようにしたらいいと思います（本をよごさないように呼びかけのポスターなどをはっだらいいと思います。）。
- ・ 伊予カフェではいいといっているが、本を読むところではいけないと思う。
- ・ 館内ではしない方がよいです。食べれるのは伊予カフェ前スペース等。こども図書館では軽食は必要



飲食は禁止としたい

- 施設管理や資料保護からすると、少しカたいかもしれませんが、館内（図書館エリア）は飲食禁止がベターだと思います。
- やめておいた方がいい。本がよごれると思うから。とくに小さい子がいるからやめておいた方がいい。本がよごれると同時に、ゆかなどもよごれてしまうと思う。
- ペットボトルなどでもこぼして本を汚しそうな気がしますので、図書館内での飲食はN Oの様です。
- 食べ物だとやはり机の上にこぼれてしまう。次に使う人が気分が悪くなるのであまり…。
- あまり感心しない。
- 必要なし

2：伊予カフェへの図書の館内持ち出しについてご意見をお聞かせ下さい。

持ち出し出来るようにしたい

- 大いにやるべし。
- 良い。とにかく足を運んでもらう。
- 持ち出しできるように。
- 持ち出しはできるようにしましょう。伊予カフェの場所は前面に変えた方がいいと思います。自由に飲食やおしゃべりができる、コミュニティカフェとして持ち込み可。簡単な調理ができるようにしてほしい（業者ではムリ）。
- 基本的には良い。
- 良いのではないのでしょうか。
- した方がいい。この建物の特長に。
- いいと思う。
- 館内ならOKにしてほしいです。
- 自由な開放的なイメージとしての持ち出しができれば、図書館のスペースは拡大する。
- じっくり本を選びたい人もいると思うので、館内持ち出しをしてもいいと思います。
- 伊予カフェだとそうもすぐなので、もし何かを食べるのならば伊予カフェがいいと思います。
- 伊予カフェへの図書の持ち出しについては良いのではないのでしょうか。色々な事情で落ち着いて本が読めない方もいらっしゃるかと…。
- 伊予カフェへの関心が高いのは、コーヒーなどを飲みながらゆっくり本を読みたいというレベルのことだと思うので（本屋や図書館とスターバックスが併設されているイメージ）、可能になるといいなあ。
- きちんと区切られていれば問題ないと思う。

管理をきちんとすれば良い

- 図書は伊予カフェの中に持っていてもいいようにしてほしいと思います。伊予カフェに来る人は、くつろぎに来ているのだから、本を読みながら食べたりしたいと思います。本をよごさないように呼びかけるポスターなどをはったら良いと思います。
- 本が汚れないように、持ち出しする人に注意喚起する必要がある。コーヒーを飲みながら読書できる幸せを共有したい。
- 貸し出した資料は、家庭でコーヒー等を飲みながら楽しむことを考えれば、伊予カフェへの持ち出しはOKではないかな。ただし汚した時は利用者が弁償すること！
- 管理がきちんとできるならかまわないと思う。
- 管理を充分行えば問題ないものと考えます。
- 本を汚さない保証がされれば賛成
- 紛失や汚染のおそれがなければよいのではないかな。
- 飲み物、簡単な食事は専用トレイ、マットを用意し、本との接触を軽減する工夫

持ち出せる本を限定する

- カフェへの本持ち出しは、本の種類を限定した方がよいと思う。
- もったいない本コーナーから借りてきたらいいと思う。飲み物がこぼれてもOKな本か雑誌を置くとよいと思う。
- 持ち出せる図書を限定すればいい。
- 開架書籍は持ち出して閲覧することは可。閉架から取り出したものについては否

持ち出しはしない方がいい

- 読書は不可
- 読む場所、飲食の場所ははっきり分けておくべきと思う。なのでカフェへの図書持ち出しはしない方がいい。
- いけないと思う。本をよごすため。
- 汚す心配があるので反対。公共の場所ゆえに節度をもってやる必要がある
- 伊予カフェへの持ち出しは必要ないのでは。
- 本を選ぶときはじっくりじっくり選びたいですが、じっくり選んだ本は貸し出し処理をし借り手の責任において大切に扱ってほしい。縁側モール、伊予カフェ、スタジオ、文化ホールでは、貸し出し処理した本を自由に読む方がいい。
- 必要なし。

3 : 館内の喫煙についてご意見をお聞かせ下さい。

喫煙できる場所をつくる

(どこかにスペースをつくる)

- ・タバコが好きな人もいると思うので、分煙にすればいいと思う。
- ・タバコをすいたい人もいるので、すえる所とすってはいけない所で分けたらいいと思います。もしタバコをすえるスペースが作れないのならば、きんえんにすればいいと思います(どこでもすわれては困るので。)
- ・喫煙ルームを作るか、火災予防のため禁煙(全部)にする。資源のためにも禁煙に賛成する。
- ・喫煙室を設置してほしい。
- ・きつえんルームを配置すればいい。
- ・喫煙がいい。理由はすいたい人もいるので、場所をつくればがいはないと思うからです。
- ・ちゃんとした喫煙ルームを作ってくれたら、マナーよくすごせると思います。
- ・小さい子どもがそば近くでするのはよくないと思う。タバコをすえる場所を作ればいい。
- ・どうしてもと云う方に、どこか2カ所くらい喫煙室を設けては…?
- ・全館禁煙!!どうしても…という要望が多いのなら喫煙コーナーを検討
- ・喫煙室を設置する(出来れば館内禁煙が望ましいので、そういったPRも…。)
- ・喫煙コーナーを作るとよい。
- ・許可されるなら是非喫煙室を設置してほしい。文化ホールを使う場合、大勢の観客が一同に喫煙するため、玄関口ではみっともない風景となる。
- ・喫煙者をこれ以上認めるべきではない。コーナーを設けることに賛成。
- ・不可。特定の場所で。喫煙室?なくてもよい。

(外にスペースをつくる)

- ・館外の敷地内に、喫煙場所を設けた方がよい。館内は禁煙
- ・館内は禁煙。外部に喫煙所を設けても良い(消極的賛成)。入口からは外す。
- ・建物内は禁煙が原則だと思う。ただし施設敷地全部を禁煙にしてしまうと、門の前でタバコを吸う人が出たり、かくれて吸う人が出て見苦しいし危険な施設になるため、屋外の、屋根はオープンな喫煙場所(自転車置き場的な?)が目立たない場所に必要かと思う。
- ・屋外に喫煙場所を設ける。
- ・否。喫煙所は屋外に。
- ・全館禁煙。屋外に1カ所スペースを作ってあげて。
- ・喫煙室を館外に設けてはどうか。
- ・だめ。基本的に外で、防寒処置を。
- ・館内では禁煙、館外にコーナー設置

禁煙にしたい

- ・絶対反対。利用者が減るだろう。利用者、職員の健康は最優先すべきだ。
- ・世の流れとして全館禁煙とすべきと考えます。
- ・子どもがはいえんをおこすかもしれないからいけない。
- ・子どもが来るため、館内は絶対禁煙でお願いします。
- ・全敷地内禁煙にすべきだと思う。
- ・時代の流れでなし。
- ・どこでもきんえんで。
- ・原則禁煙
- ・公共施設内は禁煙にしましょう。「喫煙コーナー」までつくる必要はあるか?
- ・全館禁煙
- ・禁煙が良い。
- ・駄目だと思う。
- ・喫煙する必要があるとは思えない。



図書館について

- ・電磁的資料の貸与については慎重に検討してほしい。見掛けは良くても情報が欠損している場合の対応が困難
- ・学習の場である。実態によって1万冊位から出発して増冊するが良い。市の会計も見て。
- ・地球儀を設置してほしい。ある程度大きいものを。
- ・松山市の図書館の例でいうと、一般的にイスに座って本を読んでいる人は大体1～2人組、4人掛け、6人掛けの席だと相席になり、遠慮して非効率な気がします。スタバや県立美術館1階のようなカウンター型をメインとして、4人、6人掛けは少しだけ配置する方が効率的に、多くの人を楽しめる気がします（机をもっと少なくして良いのではないのでしょうか。）。北側の窓（1階）はもう少し増やせば良いと思います。
- ・こども図書館には本だけでなく、小さな子どもでもあそべるように、おもちゃをおいたらいいと思います。そして週に1回ほど、よみきかせをしたらいいと思います。

誰もが使いやすい施設に

- ・小さい子どもから大人、お年寄りまで入りやすいしせつにしたらいいと思いました。小さい子どもには子ども図書館、小学生、中学生など学生には学習スペース、大人には伊予カフェなどがありますが、お年寄りにいい所があまり無いように見えます。もっとお年寄りにやさしいお年寄りが喜び部屋があったらいいと思います。和室の入口は広い方がいいと思います。和室はどのように使われるのですか？
- ・サードプレイス（居場所）のコンセプトを大切にしたい。本と縁がなかった人が気楽にやってこられる図書館づくりが必要
- ・子ども連れで出掛けるとき、建物内だけで過ごすとして子どもがぐずり迷惑をかけることがあります。屋外に芝生の公園スペース（小さな子どもが楽しめるようなくつろぎの空間）をぜひ作ってください!!建物の外が無理なら屋上庭園でもかまいません…。
- ・育メンが増えており、パパが子どもを連れて遊びに来た時、おむつ交換する場所がない。男性用トイレにもおむつ交換台がほしい。それから大人用トイレ内にも1カ所くらい、子ども用（女の子用、男の子用）トイレと手を洗う場所がほしい。もったいない本コーナー（市民がいなくなった本、古本を自由に置ける）は、せっかくの新しい施設、せっかくの回遊できるステキな縁側モールが古いものを置くことによって汚くならないよう、見せ方、運営に工夫をする必要があると思う。

伊予カフェについて

- ・光が大切だと思います。全体が明るいイメージになることを望みます。伊予カフェは道路側が良いと思います。子ども図書館を入れ替えては？
- ・伊予カフェをBDS^{※10}の中にするのなら可能だと思うが、伊予カフェはホールやアトリエの利用者も使いやすいものにして欲しい。今の形は図書館利用者のみ使う感じがする。
- ・伊予カフェは面白いと思っていました。経済性、採算性を考えた場合、上手く運営しないと赤字になる。伊予カフェの運営者はしっかりした金銭感覚のある人をお願いしたい。

使い方を工夫していきたい

- ・前面広場の活用方法をそろそろ議論してほしい。内部の計画に反映させる。
- ・使い方については管理運営検討委員会で基本的な考え方と、具体的な事項を検討していく。実施設計に反映させる。
- ・年代別ゾーン、貸し切り、タイムシェア、22才以下のみとか以上とか？
- ・かなり具体的になって、景色が見えてきた感あり。縁側がキモなので楽しみ。使い方が考えられるスペースがあるのは総意工夫で腕の見せ所だと思う。
- ・いろんな意見もあるが、ある程度のものであれば使う時にいろいろ工夫して利用すればいいと思う。
- ・施設は立派なものが出来ると思っている。問題はそのあとの運用と利用の仕方である。このワークショップのように、市民の参加による運用と改善が不可欠だと思う。おまかせでない主体的な参加を促すような運用をしていくことが一番大切だと思う。

その他

- ・ガラスばりにこだわりすぎ。ガラスばりがいやな人もいるので、少しはふつうのかべにするべきだと思う。
- ・火災報知器や火を少しでも防ぐガラス、消火器など、災害に備えた道具をそろえたらよいと思う。イベントをたくさん取り入れてほしい。子ども達が来ると思う。
- ・愛称は公募とすべきであろう。防災機能を有するセンターなので、ソーラーの設置も検討して欲しい。センターの運営はボランティア他を検討して欲しい。職員OBの指定席にはしないで欲しい。現在、新しいセンター等はOBとなる傾向に？
- ・公民館についての意見を別紙に添付します。是非検討をお願いしたいと考えます。（次頁資料1）
- ・別紙のとおり8項目を考え直すこと。（次頁資料2）

※10 BDS…Book Detection System。貸出処理をしていない図書を持ったまま出入口に設置されたゲートを通ると警告音が鳴るシステムのこと。

⇒資料 1

- このワークショップでは建屋について議論したことがなかったと思います。是認または黙認ということになっているようです。私はこの地域環境から考えて、決して調和しがたい建物だと思います。むしろビルディングタイプの方が地域との調和はし易いと考えます。一例として、先般建設された保健センター、社会福祉協議会事務所の建物はビルディングタイプとなっており、地域環境と何ら違和感なく調和しています。
- 現在、プランC-2が主体に検討が進められ、小部屋のつぎ足し、事務所の位置替えなど様々な検討がなされていますが、これは公民館対策の一環としてなされていると思います。
- しかし視点を改めて考える必要があります。確かにこの建屋の設計に当たっては地域環境への圧迫感を与えないため、屋根の勾配を急勾配にしていると説明されています。この配慮は尊重すべきと考えますが、この勾配が2階部分のスペースを大幅に減少させる結果となり、公民館機能を縮小させる結果となっています。
- さらにこの建て方は窓が少なく、余計圧迫感を与える結果となっているように思います。窓があれば圧迫感は大幅に緩和されると思います。
- 敷地面積が狭い場合、空間活用が常識と云われているにもかかわらず、この建物は逆の方向の流れになっており、常識と矛盾しているように思います。
- そこで提案ですが、
 - 現在の建屋デザインをベースに、2階部分を有効活用できるよう屋根の高さを2階部分まで高く引き上げる。(2)ビルディングタイプの様式に設計し、窓を多くとる。この場所は2階建てまでが限度と云われる了解を得ていると聞いています。上記(1)(2)ができた時点で新たに討議にかけては如何でしょう。
- 私はこれができたとして、2階の空間部分つまり吹抜部分を公民館の部屋として使えるよう考えるべきではないでしょうか。別紙に吹抜部分を部屋として活用した場合の略図を添付します。これができれば公民館のスペース、機能を残すことができると考えます。
- なお先般、組織案が提案されていましたが、一つ云えることは図書館と公民館は異質の組織と考えるのが自然で、1階は図書館の事務所として使い、2階には公民館の事務所を設置し、その隣に機器室を置き、一般市民も使い易い環境とする。
- また公民館にはいろんな小道具があるため、大きな倉庫が必要です。愚形ながら倉庫を設置しました。前向きに再考願いたく思います。
- この建物は50～60年使うかも知れません。その時、後悔を残さないためにも今、可能な限りの努力をしておくべきではないでしょうか。優秀な先生方の英断を期待します。
- 外観デザインも大切ですが、中身の実用性を優先すべきと考えます。狭すぎて困るより、広くして活用範囲を残すことが重要だと思います。
- 毎週日曜日常用させていただいている伊予市囲碁クラブの事務局(他のクラブも同様と思う。)として発言させていただくなら、このままだと囲碁セットの置き場、対局場も見当たらない状況にあり、これがなくなると小、中学生を含め46名の会員の楽しみがなくなり、高齢化の進行、認知症を早めることを心配している者の1人です。よろしく検討をお願いしたいと思います。
- 最後にこの問題は大きなテーマとなるため、ワークショップだけで決められる問題ではなく、一度、公民館長、公民館長経験者(当メンバーの中に坪内先生、上本先生がおります。)、文化協会長、行政の代表者を含め、組織、公民館のあり方など、多角的に検討し方向付けを得る重要な課題と考えられるので、別途有識者による検討会を開くことを希望します。

⇒資料 2

- 面積比較表での3つの用途を越えて、共用の活動空間として使うことができる諸室は、主目的が異なることから共有にはムリがあり、料金体系が違うことから共用することがあり得ない。図書館には読み聞かせ等を行う視聴覚室のみが必要であり、それ以外は不必要である。地区公民館活動にはリハーサルルーム、スタジオ、楽屋は不必要である。文化ホールには三世代交流室、視聴覚室、料理研究室、読書研究室、工芸室、茶花研修室は不必要であることなどから、共有の活動空間とならないものである。現行の料金体系は図書館施設は無料であり、地区活動に公民館施設を使用する場合は免除対象であり、文化ホール機能の施設は、免除対象にならなくて全て有料になっており、共用の活動施設に馴染まない。使用用途や許可申請により、使用料金を徴収することが可能であるから、3つの用途に差別化する必要がないとする考えであるが、現行において虚偽の申請があることから、有料、免除を明確にするためには、諸室を分類して、使用料金の徴収を免れないような専有施設とすべきである。全館全てを無料又は免除対象にすることなく、図書館機能、地区公民館機能、文化ホール機能に分けた取り扱いをすべきである。面積比較表の訂正を求める。
 - 多目的スペースはいろんな用途に使用するものであり、既存の施設から91㎡も減少しており、200人以上の高齢者を対象とした敬老の家事業において、飲食や演芸のモチナシを行うスペースが狭くなっていること。高齢者の健康維持である寿体操では、広がって柔軟対象を大勢で行うには狭くなると支障を来す。バレーボールを行う面積を確保していることであるが、選手以外が準備や観戦する遊びの部分がない。多目的スペースはこれ以外に重要な目的として、震災時等の緊急避難場所であり、市民が数日間寝泊まりするものであり、郡中地区は市内の約半分の人口が集中しており、防災倉庫を多目的スペースに隣接することで機能の充実を図り、既存の大集会室面積451㎡でも狭いぐらいである。最低でも既存の面積を確保するよう計画の見直しを求める。200人が使用する椅子、机を収納する倉庫を確保していない。計画の倉庫は卓球台、バレー用具や展示パネル等の収納で一杯となる。椅子、机を収納する倉庫の確保を求める。
 - 合併以前は公民館事務室には館長と主事のみがいることで、地区住民が親しみを感じる公民館施設であったが、庁舎事務室が手狭になったことから教育委員会の事務室に使用しており、地区住民が気軽に話せる環境や、地区住民が親しみと融和できる状況でなくなった。この事を改善する必要がある。地区公民館機能の汎用を図るためにも、地区住民が何時でも館長や主事と話せる環境が必要であることから、公民館事務室を2階に設置して、独自の郡中地区公民館とするよう計画の見直しを求める。
 - 既存の第1会議室が現在でも手狭であることから、既存の面積を最低でも確保するように計画の見直しを求める。
 - スタジオ、楽屋は1つの部屋でことが足りると思う。1つの部屋にするように見直しを求める。
 - 市民会館の食堂は赤字経営で1年目に廃止した事例があり、カフェも数年で赤字公算が見込まれるから、廃止するように計画の見直しを求める。
 - 南海トラフを震源とする巨大地震に備える防災、減災施設の避難場所として地区公民館が指定されるので、防災備蓄倉庫(食糧、毛布、医薬品などを備蓄する。)を2階に設けると共に長期間の断水に伴う緊急貯水槽を設置すること。郡中地区は市内の人口の半分を占めており、多くの市民が避難することが考えられるので、建築計画の見直しを求める。
 - 埋蔵文化財等は、県下でも貴重な重要文化財であり、埋蔵文化財が市内に多く分布、点在しており、伊予市の歴史を知る市民の財産であることから、合併協定書に書かれている文化財の保管、展示施設を建設することにしていないものがある。しかし今回の計画には保管、展示施設がないことは合併協定書を無視しており、合併協定書の遵守を求めるものである。手狭で計画に入れることができないのであれば、民具を含めた保管、展示施設を別の場所に建設することを求める(郡中地区以外でもよい)。
- 結論：文化ホールありきの計画であり、親しみを感じる地区公民館になっていないから、以上の事を考慮して、計画の変更を行うか地区公民館を別の場所に建設するように要望する。到底容認できないものである。

郡中小学校 出張ワークショップの記録



第5回ワークショップが運動会と重なって参加できなかった郡中小学校の子供も達に、出張ワークショップでご意見をいただきました。

1階

(全体)

- 夜の8時くらいまで開いているといい(高校生なども平日が行きやすい。)
- 案内板を置いて、どこになにがあるか分かりやすく。とくに入っすぐ。
- たくさんの方が来てもいいように、くつ箱を多くつくる。
- 足が不自由な人のためにスロープをつくる。



20人の子供も達にたくさんの意見をいただきました。



(こども図書館)

- かべの色は子どもらしい暖色系や水色がいいと思う。
- 落書きしてもいいようなかべにしたらいと思う(今までにないかべ)。もしくは落書きしても「キレイ」になるかべにしたらいと思います。⇒賛成2
- おもちゃをおいたらいいと思う。
- クッションをおく。
- 小さい子が走るかもしれないから、角のあるものや高さのある机などは置かない方がいと思う。
- 赤ちゃん用のおもちゃを作つたらいい。
- 読み聞かせのともをもうちょっと大きくしたらいと思う。

(伊予カフェ)

- 伊予カフェにもトイレがいる。
- 昼食なども食べれたらいいと思う。
- 子どもから大人まで楽しめるメニューがいい。ケーキとかコーヒー、ジュース
- 働く人がオリジナルの服を着たらいいと思う。
- 飲食ルームがほしい。
- 売店のようなものをつくる。飲食ルームなどでしか食べれない。

(開架閲覧室)

- 子ども向けの本や小説などを分けて、分かりやすいように置いたらいいと思う。
- 好みは人それぞれちがうから、十種類ぐらい本をおいたらいい。科学、物語、れきし(マンガ形式)
- おとなの本もいる!!
- 手作りの本も置いたらいいと思う。
- 4人掛け、6人掛けのテーブルで静かに本を読むには、しきりがあつた方がいかもしれない。
- 進げきの巨人のマンガを読みたい。
- 図書館にもっといすをふやしたらいい。
- こしつを多くつくる。

(その他)

- リハーサルルームと楽屋は近い方がいと思う。
- リハーサルルームからステージへの通路があつた方がいかもしれない。
- 楽屋を1つにつなげればいとおもう。
- 楽屋は2ついらないかもしれない。
- 1階からの外階段があつたほうがい。
- 完全な自由ゾーンがほしい。
- 市民が自由に話し合える場所があると良い。
- トイレが大きいから、ほかの建物を大きくする。
- トイレがカフェから遠い。

2階

(テラス)

- テラスは1階にもつけたほうがいと思う。
- テラスの広さを広くする。
- 外かいだんがほしい。

(アトリエ、和室)

- アトリエ2で料理教室を開いたらいいと思う。(広告で知らせる。)
- 自分たちでも料理ができたらいい。
- アトリエ3で工作教室を開いたらいいと思う。
- アトリエは2と3、2ついらないかもしれない。
- アトリエ1は会議をしないときは、学習コーナーとして使つてもいと思う。
- 和室でできるゲームみたいなところを1くかくにおけばいと思う。

(2階の西側、アトリエ前のスペース)

- ぬけみちがおおく、とおりみちになりそう。

(学習コーナー)

- もう少し席を多くすればいと思う。
- ぜんめんガラスでおおって、下がみえるようにしたらいいと思う。
- 勉強する人用にしきりがあつた方が良い。
- パソコンルームがほしい。
- クーラーがほしい(暖ぼうも)。

(多目的スペース)

- 月に1回ぐらいイベントみたいなことをすればいと思う。
- 小さい子のために、おもちゃをおいたらいいと思う。
- もう少しひろくしたい(イベントなどをするときのため。)
- 月間のイベントをきかくしたらいいと思う。

(吹抜)

- 吹抜はそんなにいらないと思う。
- 吹抜に橋的なものをつけて、わたれるようにする!!
- 吹抜をとうめいなガラスでゆかにする。
- リハーサルしていると上から見えるからいいと思う。
- 下がりハーサルルームだから、吹抜じゃない方がいと思う。

(その他)

- 2階にトイレをもう1つふやしたらいいと思う。(2人)
- 2階にも楽屋をつくつたらいいと思う。
- てんたいルームがほしい。
- 老人ルーム、老人でも楽しく本を読めるルーム
- 子どものスペース(小さい子が遊べる。)を作つた方がい。